

人生の新たなスタートとして、「帰敬式」を受けましょう

～帰敬式とは～

「おかみそり」とも言われ、「仏（仏さま）」「法（教え）」「僧（同朋）」の三宝に帰依し、真宗門徒として新たな人生を歩み出すことを誓う大切な儀式です。そこには、欲望追求の自我中心の生き方から「本尊」（南無阿弥陀仏）を中心とする生き方への転換の意義があります。

帰敬式では、「三帰依文」（勤行集表紙裏）を唱和し、剃刀の儀（おかみそり）を受け、仏弟子としての名前である「法名」が授与されます。真宗の伝統のなかにこの身を受けた一人ひとりの、人生の新たなスタートとして、「帰敬式」を受けましょう。



Q 帰敬式は生きているうちに受けるものなのですか？

A 本来、生きているうちに受式するものです。亡くなってからではなく生きている今、仏さまの弟子となった自覚をもち、生きる依りどころと方向が定まり、聞法生活を送ることが願われています。

Q 髪の毛は本当に剃るのですか？

A 式ではかみそりをあてるだけです。剃りません。

人間には他人に勝ちたい心（勝他）・お金儲けしたり裕福になりたい心（利養）・いい人と評価されたい心（名聞）があるといわれています。その三つの心を頭にはえた三本の髻（もとどり：頭髮を束ねたちょんまげのようなもの）にたとえて、それを剃り落とすという意味があります。

Q 法名って何ですか？

A 釈迦・諸仏の弟子となった仏弟子としての名前です。

帰敬式を受けると新たに「釈〇〇」という法名をいただき、その名を名告ります。それは出家をして戒律を保つ者の戒名とは違い、在家のままで仏さまの教えをいただいて生きていく者（仏弟子）の名告りです。



南無阿弥陀仏、南無阿弥陀仏

サンガくん